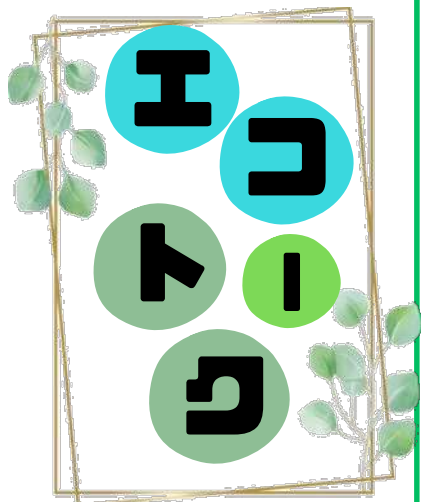


町 美 宇



(2023年広報11月号)

町にお住いの皆さんいかがお過ごしですか？前号で「今年の夏は猛暑日が何日あるのでしょうか？」と書いておりましたが、やはり今年の夏は全国的に猛暑日の最多記録を更新しています。気象庁の発表では、陸地だけでなく海面水温も1982年の観測開始以来8月の月間平均温度が過去最高であると報道されていましたが、

9月も過去最高になる見込みであるとしています。日本近海を中心に10海域を測定していますが、今年の特徴としては北海道近辺での上昇が顕著で、平年の3・8℃高くなっていると発表しています。日本全体ではなんと1・7℃も高かったそうです。海水温が1℃上がると7%湿度が上がると言われていますが、これは海水が蒸発するためです。水蒸気だけが上昇するだけでなく海水中の含まれるCO₂も放出され、大気中のCO₂濃度も上昇します。



海水はCO₂の最大の貯蔵庫にもなっているのです。以前にも書きましたが海水温が上昇すると雨量が増え、台風も発生しやすくなるだけでなく大型化します。近年では台風の前線に変化が見られ、東北地方の災害が増えています。国連の事務総長は「もはや地球温暖化などではなく、地球沸騰期だ！」とコメントを発表しています。国連では様々な研究機関と連携し、地球の未来について懸念を表明していますが、なかなか気温上昇傾向は改善されていません。私たち一人一人の意識改革が求められています。



文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆